

平成26年度

ウッドカヌー・アトリエ・ビレッジ・プロジェクト

三木ウッドカヌー アカデミー

報告書

三木商工会議所

事業概要、目的

当事業は、昨年度の調査研究事業に基づき実証実験と位置付け、目的・難易度の異なる体験型イベント「三木ウッドカヌー アカデミー」を2回開催することで、金物のまち三木の道具と周辺地域の間伐材を活用する林商工連携事業にも繋がり、阪神地域のアクティブシニア層を中心にターゲットとし、家族との絆、仲間との連帯感を創出するコミュニティビジネスや他の施設・施策と有機的に結び付けることでシニアの聖地づくりという都市戦略展開事業を目指す。

事業内容

実証実験的に目的・難易度の異なる体験型イベント「三木ウッドカヌー アカデミー」の初級、中級コースを2回開催し、最終目標であるウッドカヌービルダーズスクール事業の課題抽出と解決策等を研究し、事業環境の整備と新たな観光振興策として取り組む。

○三木ウッドカヌーアカデミー（体験型イベント）

第1回：初級コース

「やんちゃGGとつくるベニヤ(合板)カヤックづくり体験」

開催期間：8月3日（日）～8月9日（土）

開催場所：三木ウッドカヌーアカデミー工房（三木市観光協会2F）

参加定員：5組

参加費：35,000円（税込み）

第2回：中級コース

「趣味発見ツアー カヌービルダー入門 本格ウッドカヌー製作体験」

開催期間：9月7日（日）～2月7日（土）

開催場所：三木ウッドカヌーアカデミー工房（三木市観光協会2F）

参加定員：5組

参加費：180,000円（税込み）

事業成果

周知・PRについて

当事業の実証実験的に取り組んだ三木ウッドカヌー アカデミー（体験イベント：初級コース「やんちゃG～G&親子でつくるベニヤカヌー」、中級コース「趣味の発見ツアーカヌービルダー入門」本格ウッドカヌー製作体験）の募集については、計画どおりターゲットとしていた阪神地域のアクティブシニア層を中心にカヌー関連施設やものづくり経験者等へチラシ（500枚）及びポスター（300枚）を配布するとともに新聞社やラジオ局からの取材により広域的に周知でき、窓口をはじめ、電話やメールで多くの問い合わせがあった。さらに、7月27日（日）には、かじやの里メッセ三木（展示会場）にて開催した三木商工会議所主催の「三木ものづくりスタジアム2014」イベントへ当事業の試作品カヌーを展示しPRするとともに、来場者の方（100名）に対して関心度調査（ヒアリング調査）を行った。



三木ウッドカヌーアカデミー

カヌーを創ろう!

初級コース 「やんちゃGG&親子でつくるベニヤカヌー体験」
8月3日・8月9日 9時～12時 18,350,000円

中級コース 「趣味発見ツアーカヌービルダー入門」
9月7日・2月7日 9時～12時 18,350,000円

三木市観光協会 三木市観光協会 三木市観光協会



実証実験イベント（三木ウッドカヌーアカデミー）について
☆初級コース（やんちゃG～G&親子でつくるベニヤカヤック）

開催期間：平成26年8月3日（日）～9日（土）

開催場所：三木市観光協会（みのがわ会館 2F）

参加者名：山田 氏（神戸市）

陰山 氏（加古郡）

重野 氏（神戸市）

玉田 氏（神戸市）

岸川 氏（西宮市）

製作講師：辻 靖基 氏



内 容：①カヌー座学 ②製作工程説明 ③製作実習

当初、夏休み期間中の開催という事で孫との参加を予定されていた方もおられたが、都合が悪くなり最終的には、神戸市在住の方を中心にまさにアクティブシニアの方々が集まり期待感いっぱい熱心に取り組まれた。概ね、はじめてカヌー製作に挑戦される方で、道具（のこぎり、かんな、のみ）の使い方から指導にあたった。

参加者間の交流についても、すんなりと深まり、冗談や私情など挟みながら、時には協力しあって、時には1人で製作された。講師である辻氏との信頼関係も良く、熱心に取り組まれた。

事務局としては、辻氏のサポート役として当事業の第1期生に満足頂けるように対応した。参加者の方には「やはり道具のまち三木だね。カヌー製作に必要な工具類が全てある。」というご意見も頂きうれしく思えた。

事業計画どおり製作は、スムーズに進んだが一部困難な工程もあり、やり直しの部分もあったが早く完成された方はほぼ計画どおりで製作された。開催期間中に各参加者の都合等や体調不良もあつたりで、2日間延長して完成された方もおられた。

夏場ということもあり工房内は、仮設のスポットクーラーをレンタルして対応したが、暑さが勝り、直ぐに作業着が汗だくとなった。しかしながら、暑さに関する苦情はなく、事務局も予算内で精一杯のおもてなしをしてくれているという感想も頂いた。

本来、当工房前に流れている美囊川でイベント最終日に試乗を実施する予定であったが台風19号の接近で中止した。その後、参加者からの近況報告として完成されたベニヤカヤックを住居近くの浜や湖で試乗され、ご家族やご友人と楽しまれている写真や家の玄関口に飾られているベニヤカヤック写真をお送り頂いた。

我々としては、まだまだ、小さな第一歩であるが、今回の5名の方が当事業の記念すべき第1期生として友人や仲間にPRして頂き、次回は製作指導者又はサポート役として当事業に関わって頂ければ徐々にネットワークの拡大に繋がるものと確信した。



☆中級コース (趣味発見ツアー カヌービルダー入門 本格ウッドカヌー製作)

開催期間：平成26年9月7日(日)～平成27年2月7日(土)

開催場所：三木市観光協会(みのがわ会館 2F)

参加者名：岡 氏(神戸市)
西崎 氏(揖保郡)
伊勢田 氏(神戸市)
長岡 氏(篠山市)
生木 氏(たつの市)

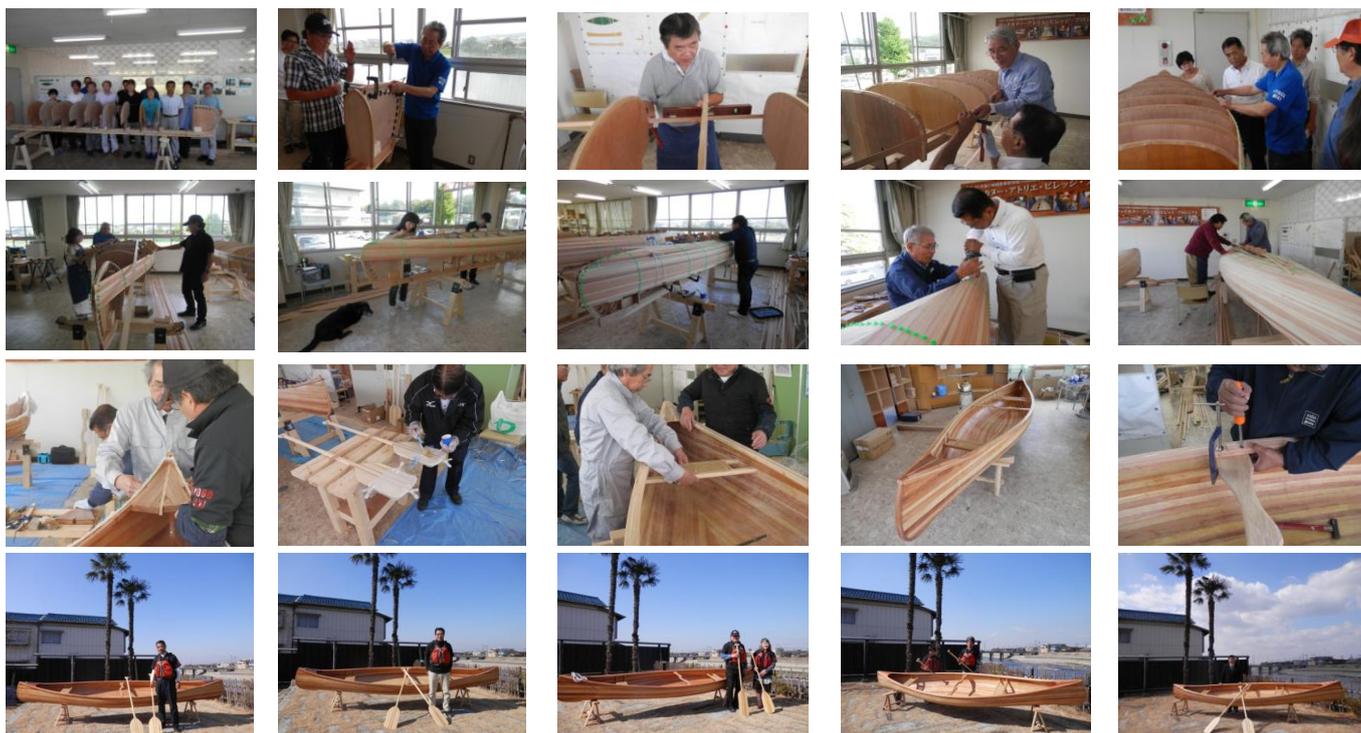
製作講師：辻 靖基 氏

サブ講師：岡田 隆夫 氏

内 容：①カヌー座学 ②製作工程説明 ③製作実習

今回の参加者はご夫婦での参加が多く、神戸市以外に三木市より西側地域の遠方から参加された。長期的な体験イベントであることからスローペースで製作が始まり、製作可能日(オフィシャルワークデー、プライベートワークデー)のスケジュールどおり参加される方や週に2回のペースで参加される方など製作の進み具合に差が出た。こちらのコースも参加者間、講師、事務局とのコミュニケーションは直ぐに図れ、励まし合いながら時には協力し合って製作された。1つ1つの工程に時間を要する中級コースであるが、難易度の高い工程を完成させ、カヌーの形が見え始めると充実感や達成感は初級コースとは一味違う「本来のものづくり」という意識が芽生えている。工具も初級コースとは比べ物にならないくらいの使用量で鉋、鋸、のみを中心に長時間活用した。

講師も専属講師の辻氏に加え、講師育成指導者として岡田氏が指導サポートにあたり参加者1組残らず、目が行き届き詳細な工程まで指導をされた。また、この製作を見学される方が数十名訪れ、「次年度は是非、参加したい」というご意見もあった。熱心な方は何回も製作工程が進む毎に見学される方もいた。さらに、参加者の仲間や身内の方も見学された。製作工程は三木ウッドカヌーアカデミーFacebookや三木市観光協会のHPで閲覧できるようにPRした。



事業効果

知的好奇心旺盛な団塊世代を中心とするアクティブシニアに対し、通常の日曜大工に代表される「DIY」とは異なる新しく「格好良いものづくり」=森の中の造船所でカヌーづくり（実証実験イベント）として提供したところ、募集して直ぐに定員オーバーとなり、新たなツール(道具)への関心を喚起し、需要を創造する契機となった。

また、本市へ訪れた事のない方々が当事業工房の見学に来られたり、新たなものづくりのまち三木としてマスコミからも注目され始めた。

さらに、参加者間でのコミュニケーションが芽生え、家族の「絆」も深まるきっかけとなった。

当事業を取組む事により三木に新しい観光振興策メニューが生まれた。

今後の目標・展開

実証実験として取り組んだ「三木ウッドカヌーアカデミー」は、事業計画どおり三木金物を活用し少人数ではあるが、阪神地域のアクティブシニアを中心とした10組のカヌー製作体験経験者が誕生した。

三木市の住民にも新たな観光振興策としての取組みが認知されようとしている。

まだまだ、実績数が少ないため数年は、三木ウッドカヌーアカデミーの運営に取組み、実績づくりに集中する。その中から生まれてくるであろう課題解決策を積み重ねながら、充実した事業内容を確立させていく。

また、カヌー製作に興味を示す方をはじめ、ものづくり全般に関心がある方が交流できる倶楽部を立ち上げる予定である。

当事業の継続的展開により、アクティブシニア層の観光入れ込み数が増え、中・長期滞在型の新事業を創出として市内地域の他施設利用となる波及も生まれ、三木全体の活性化に繋がるように展開していきたい。

さらに、当事業の初年度から目標としている日本初の「カヌービルダーズスクール」の開校を目指し、今後も継続的に、進化し続けながら取り組む考えである。